

授業科目

放射性同位元素検査技術学実習

担当教員名 泉川 卓司、川村 宏樹、池上 喜久夫	対象学年	4	対象学科	臨床
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	◎	○

授業の概要

放射性同位元素検査技術学で学んだ知識をもとに、RI検査の基礎知識を学ぶ。

授業の目的

放射線同位元素を用いた検査、放射能が与える人体への影響を各臨床検査分野で関連づけて習得する。

学習目標

1. RI検査の有効な利用法を説明できる。
2. RI検査の測定法を説明できる。
3. 放射線管理の基礎について説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1-3	RIの取扱の基礎	講義・実習	泉川 卓司
4-6	天然放射線の測定、各種遮蔽材による吸収、各種遮蔽材による吸収	講義・実習	泉川 卓司
7-9	核医学検査	講義・実習	泉川 卓司
10-16	人体に与える影響1	講義・実習	泉川 卓司 川村 宏樹 他
17-23	人体に与える影響2	講義・実習	泉川 卓司 川村 宏樹 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	臨床検査学講座 放射性同位元素検査技術学	藤井 張生、牧石 典之、村田 雄二 他	医歯薬出版	2002年	2,160円	2002年2月
参考書						
その他の資料	配布資料					

評価方法

レポート(20%)、定期試験(80%)

履修上の留意点

放射性同位元素検査技術で学んだことをしっかりと確認して実習に臨むこと。
実習の心得、態度、礼儀、服装に乱れがなく、積極的に実習に取り組むこと。
全ての実習項目に出席し、レポートを提出することが単位修得の条件である。

オフィスアワー・連絡先

N505 川村宏樹, hiroki-kawamura@nuhw.ac.jp